

2023 Race Report

2023 鈴鹿・近畿選手権シリーズ 第2戦

鈴鹿サンデーロードレース JSB1000 鈴鹿 8 耐トライアウトファイナル

会場:三重県 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1周 5.821km)

日時:5月19日(金)スポーツ走行 天候:雨 コース:ウェット

5月20日(土)公式予選 天候:晴れ コース:ドライ

5月21日(日)決勝レース(10周) 天候:晴れ コース:ドライ

※赤旗中断のため2周減算し、8週の再レース

ライダー:#42 櫻山茂昇/マシン BMW S1000RR

ライダー:#43 東村伊佐三/マシン BMW S1000RR

結果:予選#42 櫻山選手 45台中23位(ベストタイム 2'15.867)

予選#43 東村選手 45台中18位(ベストタイム 2'15.382)

決勝レース #42 櫻山選手 22位(トライアウト順位 19位)

決勝レース #43 東村選手 13位(トライアウト順位 11位)

※鈴鹿8耐トライアウトは上位チームで重複があり順位が繰り上がり8位で通過しました。

日頃より信州活性プロジェクト Team 長野にご支援、ご声援をいただきまして、誠にありがとうございます。

◆鈴鹿8耐トライアウトファイナルへ向けて

2023年の鈴鹿8耐トライアウトは4月に開催された全日本選手権第2戦鈴鹿2&4レース及び、この鈴鹿サンデーレース第2戦の2回のみとなりました。1回目のトライアウトとなる全日本選手権は今シーズンよりカーボンニュートラル燃料(バイオ燃料)の使用が義務付けられました。しかしながら、燃料の事前テストなどが一切出来ないことや、詳細な情報が全く無い未知の燃料を使用した状態で国内最高峰の全日本選手権へ挑戦するには、あまりにもトラブルのリスクやコスト等が懸念となり、苦渋の決断でしたが、全日本選手権への参戦は諦めました。そして、最後となる鈴鹿サンデーレースの8耐トライアウトファイナルに全てを掛ける決断をしました。(その後、鈴鹿2&4レースは開幕戦で多くの懸念が出たことから、直前にガソリン燃料も使えるようになりました…)

5月の鈴鹿サンデーレース第2戦の鈴鹿8耐トライアウトファイナルへ向け早めにマシンを整備して走り出す予定でしたが、海外製マシンということもあり既に国内に新品在庫が無いパーツ等もあり想定よりも準備に時間が掛かってしまい、マシンが組み上がりシェイクダウン出来たのが4月29日となっていました。しかし、なんとか組み上げたマシンでしたがシフトに大きな問題が出てしまい、順調な滑り出しとは行きませんでした。このトラブルを解決するべく、トライアウトレース前に走れる最後の機会として5月7日の鈴鹿のスポーツ走行に急遽マシンを持ち込み調整しました。結果は改善の兆しが見



えたものの、根本的な解決には至らず不安を抱えたままレースを迎えることとなりました。

◆金曜日特別スポーツ走行

この日は天候に恵まれず、5月7日と同じ一日中雨が降り続くウェット路面での走行となってしまいました。ウェット路面では大変滑りやすいため、ドライ路面の時のような負荷をマシンに与えることが出来ずにトラブルの確認が出来ないまま、翌日の予選に挑むことになりました。



◆予選

昨日と天候が大きく変わり汗ばむような陽気のコンディションとなりました。残念ながらドライ路面でのテストがほとんど出来なかったことから、ぶっつけ本番の予選となりました。しかも、鈴鹿サンデーレースは地方選手権のため予選は20分しか無く、ライダーも練習をしていない状態で全開走行をしなければいけない大変厳しい予選となりました。予選開始直後から、東村選手の43号車はシフトトラブルが直っておらず、トラブルを抱えたままの走行となりました。また、42号車の櫻山選手も違うトラブルを抱え共にタイムアップが思うように行かず、予選結果は想定を大きく外れて後方からの追い上げとなりました。



◆決勝

決勝レースは他のチームも鈴鹿 8 耐出場を掛け全力で挑んでくることから壮絶なレースとなることが予想されました。レースが始まり東村選手は数台を交わしポジションアップを果たし、櫻山選手もするためプッシュしようとした 2 周目に多重クラッシュが発生してしまい大きな事故となったことから赤旗中断となり、約 40 分の長いインターバルを経て 8 周という大変短い周回数での超スプリントレースとなりました。仕切り直しとなった第 2 レースは、スタートで櫻山選手が好スタートを切り順位を上げました。すかさず東村選手もすぐさま櫻山選手に追い付き、追い越すと更に順位を上げるべくプッシュしますが、マシントラブルを抱えたままでは思うようなライディングが出来ずに苦戦を強いられてしまいました。櫻山選手もトラブルを抱えながら懸命に走行しましたが順位を下げてしまう結果となりました。東村選手は、豊富な経験と卓越した技術によりポジションを上げ続けトライアウト通過の可能性が高い 13 位まで追い上げてのチェッカーとなりました。



◆ライダー 東村伊佐三選手のコメント

鈴鹿 8 耐トライアウトファイナルに team から出場の話をしていただいた時にはマシンの準備が間に合うのか不安もありましたが、チームのスタッフが頑張ってくれたので感謝しています。

マシンテストから予選、決勝と、シフトトラブルを解消できずに万全な状態ではレースでは走ることはできませんでしたが、8 耐の出場権利を取得するため全集中で挑みました。

スタートから 2 周は、出遅れたのもあり 13 台をパスして、転倒直前のマシンの挙動を押さえながらのライディングでしたが、転倒マシンが炎上したことで、レッドフラッグとなりレースのやり直し、グリッドも予選順位のまま、振り出しに戻り 8 周でのレースとなりました。

2 回目のスタートでは少し冷静にサポートに来てく



れていた岡村選手のデータで、この順位であれば、8 耐参戦権を獲得できる戦略はありましたので、落ち着いて順位を上げるレース展開で終わることができ、結果 8 耐トライアウトのミッションをクリアできて、安心しました。

大変厳しい状況下のレースでしたが、team 長野の意地を発揮できてよかったです。応援やサポート、スポンサーの皆さんのお陰で、第一関門突破できました。次の本番、8 時間耐久レースでは皆さんの力とチーム一丸となり挑んで行きたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

◆ライダー 櫻山茂昇選手のコメント

ご協賛企業様、個人サポーター様、関係者の皆様、いつもご支援、ご声援をいただきまして誠にありがとうございます。約 8 か月ぶりのシェイクダウンから始まり、レースまで限られた時間の中で何とかトラブルを解決しようとスタッフはもちろん関係者の皆様の力もお借りして、トライ&エラーを繰り返しレースまでには解決に至りませんでした。少しずつ改善をすることが出来たのは良い経験になりました。私自身は 8 耐トライアウトを何としても通過する思いで覚悟を持って挑んだ 8 耐トライアウトレースでした。しかし、レースウィーク中も天候やトラブル、アクシデント等の厳しい場面が続きました。スタッフが遅くまでマシンのメンテを献身的にして、なんとかグリッドに着くことが出来ました。スタッフの皆さんに感謝しています。

レースはスタートで前に飛び出すことは出来ましたが、その後はペースを上げられず順位を落としてしまう大変悔しいレースとなってしまいました。東村選手の走りに助けていただき今年も鈴鹿 8 耐に挑戦出来ることになりましたので、まずはトラブルをしっかりと解決して、今回の反省を活かしこの悔しさを糧に 8 耐本番では活躍出来るよう精一杯頑張ります！引き続きご声援よろしくお願いたします。



喬木村伝統工芸品『阿島傘』



インターJSB1000 決勝 レース

2023 / 5 / 21 / 日 / 45



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Weather : Fine

Full Course 2-Wheels(5,821m)

Track : Dry

Pos	No	8H	Rider	Team	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	112	8H	1 加藤 高史	Honda 双友会 Tochigi Racing #112	Honda/GBR1000RR-R	DL	8	17'48.761		2'13.039
2	5	8H	2 中島 陽向	Team BIZENSEIKI KirimotoTechno Works 2	Kawasaki/ZX-10R	BS	8	17'51.544	2.783	2'13.324
3	63		羽根 巧	TEAM AGRAS with NOJIMA	Honda/GBR1000RR-R	BS	8	17'51.812	3.051	2'12.685
4	19	8H	3 片平 亮輔	CLUB NEXT Honda Dream 高崎	Honda/GBR1000RR-R	DL	8	18'04.052	15.291	2'13.318
5	62	8H	4 澤村 元章	IRF with AZURLANE 3	YAMAHA/YZF-R1	DL	8	18'06.189	17.428	2'14.811
6	52	8H	5 増田 雄基	GESUNDHEIT Racing	Honda/GBR1000RR-R	DL	8	18'06.399	17.638	2'14.705
7	26	8H	6 吉廣 光	CLUBNEXT Honda Dream TAKASAKI	Honda/GBR1000RR-R	DL	8	18'11.056	22.295	2'15.293
8	46	8H	7 岡田 寛正	HondaフルヘルメットMSC熊本	Honda/GBR1000RR-R	DL	8	18'13.316	24.555	2'15.004
9	70	8H	8 可部谷 雄矢	山科カワサキ オートレース宇宙 YIC EJ	Kawasaki/ZX-10R	DL	8	18'15.062	26.301	2'15.429
10	690	8H	9 山内 芳則	YSSマキユリー&speedHeart F.A.T	Kawasaki/ZX-10R	BS	8	18'17.010	28.249	2'15.151
11	72	8H	10 大貫 貴彦	CLUB NEXT Honda Dream TAKASAKI	Honda/GBR1000RR-R	DL	8	18'17.438	28.677	2'15.831
12	64		福山 京太	FK7-クスヒロコ with モトスポーツ	YAMAHA/YZF-R1	BS	8	18'17.850	29.089	2'15.943
13	43	8H	11 東村 伊佐三	Shinshu activation project Team NAGANO	BMW/S1000RR	BS	8	18'18.001	29.240	2'15.172
14	54	8H	12 宮腰 武	IRF with AZURLANE 1	YAMAHA /YZF-R1	DL	8	18'18.577	29.816	2'16.305
15	36	8H	13 左村 英祐	トライボイント&Factory HIRO FUCHS Silkolene	SUZUKI/GSX-R1000R	DL	8	18'22.830	34.069	2'16.372
16	27	8H	14 西中 綱	MOTORCYCLES#27	Honda/GBR1000RR-R	BS	8	18'23.861	35.100	2'15.959
17	55	8H	15 安達 勝紀	NICHIRIN RACING NOI:Z	YAMAHA/YZF-R1	DL	8	18'26.083	37.322	2'16.628
18	24		吉田 和憲	icu racing team	YAMAHA/YZF-R1	BS	8	18'29.449	40.688	2'16.522
19	21	8H	16 本田 恵一	Honda 双友会 Tochigi Racing	Honda/GBR1000RR-R	DL	8	18'29.784	41.023	2'17.157
20	78	8H	17 村上 勇人	HondaフルヘルメットMSC	Honda/GBR1000RR-R	DL	8	18'30.122	41.361	2'17.246
21	41	8H	18 松永 修	TeamマツナガKDC&YSP名古屋北	YAMAHA/YZF-R1	BS	8	18'30.613	41.852	2'17.219
22	42	8H	19 櫻山 茂昇	信州活性プロジェクトTeam長野	BMW/S1000RR	BS	8	18'34.202	45.441	2'16.645
23	17	8H	20 喜田 優人	山科カワサキ KEN Racing	Kawasaki/ZX-10R	DL	8	18'38.387	49.626	2'17.956
24	69	8H	21 川口 篤史	KEN RACING オートレース宇宙 YIC AW EJ	Kawasaki/ZX-10R	DL	8	18'38.818	50.057	2'18.748
25	56	8H	22 小林 寛明	ATJ Racing	Honda/GBR1000RR	BS	8	18'39.377	50.616	2'18.059
26	3	8H	23 荒川 雅彦	TeamマツナガKDC YSP名古屋北 with M&Y	YAMAHA/YZF-R1	BS	8	18'39.554	50.793	2'17.891
27	77		森 繁生	Team de"LIGHT	DUCATI/Panigale V4R	PI	8	18'39.753	50.992	2'18.382
28	12		加藤 久幸	クラブエスポイント&オールオート	YAMAHA/YZF-R1	PI	8	18'40.854	52.093	2'18.271
29	23	8H	24 久野 光博	feniceTOTTORI&MOTOWORKS	YAMAHA/YZF-R1	BS	8	18'41.605	52.844	2'18.055
30	2	8H	25 高居 京平	IRF with アズールレーン5	YAMAHA/YZF-R1	DL	8	18'45.304	56.543	2'18.306
31	73	8H	26 麻生 将大	MOTOWORKS fenice	YAMAHA/YZF-R1	BS	8	18'45.708	56.947	2'18.598
32	85	8H	27 藤井 勇一	立秋モーター&RC甲子園	YAMAHA/YZF-R1	BS	8	18'47.000	58.239	2'18.989
33	57		平城 彰雄	ファンファクトリーとCSSTANCE&ジニアス&立秋M	BMW/S1000RR	BS	8	18'47.495	58.734	2'18.446
34	65	8H	28 武田 敦馬	浜松チームタイタン	SUZUKI/GSX-R1000R	DL	8	18'47.811	59.050	2'15.442
35	91		辻 敏彦	TIO Verity	BMW/S1000RR	BS	8	18'48.515	59.754	2'19.466
36	111		中村 浩	Honda 向陽会 ドリームレーシングチーム	Honda/GBR1000RR	BS	8	18'53.894	1'05.133	2'19.760
37	76	8H	29 沖永 博一	Kawasaki Mercury with RS Detour	Kawasaki/ZX-10R	BS	8	19'08.970	1'20.209	2'20.331
38	6	8H	30 森 健祐	HondaフルヘルメットMSC Asaka	Honda/GBR1000RR-R	DL	8	19'36.317	1'47.556	2'15.219
**** 以上完走 (規定周回数 6Laps) ****										
25	8H	-	遠藤 晃慶	IRF with アズールレーン4	YAMAHA/YZF-R1	DL	3	6'44.925	5Laps	2'18.811
61	8H	-	奥田 貴哉	Team de"LIGHT	DUCATI/Panigale V4R	PI	2	4'27.121	6Laps	2'12.497
31	8H	-	岸本 修	TeamマツナガKDC&YSP名古屋北&愛知トヨ	YAMAHA/YZF-R1	BS	1	3'10.951	7Laps	1Lap
29	8H	-	岩谷 圭太	DOGHOUSE KOOD	SUZUKI/GSX-R1000R	DL		出走せず		
71	8H	-	川名 拳豊	IRF with AZURLANE 2	YAMAHA/YZF-R1	DL		出走せず		
*1	82	8H	- 山中 将基	Team BIZENSEIKI KirimotoTechno Works 1	Kawasaki/ZX-10R	BS		失格		

Fastest Lap

2'12.497 (2 / 2) 158.159 km/h 61 奥田 貴哉 / Team de"LIGHT

Start Time :12:58'24 Finish Time :13:16'12

Entry :45 Start :42 Finish :38

*1 No.82は、失格 MFJ国内競技規則 付則3 3-2-5 (危険な走行)

赤旗提示のため、再レースとした。赤旗提示時刻: 12:00'03~12:58'24

公式通知No.8により、8周(2周減算)のレースとした。

GET-HOT賞、XPD賞は1位から3位が対象。

審査委員長 橋川 勇	競技監督 坂口 辰昭	計時委員長 牧野 真也
---------------	---------------	----------------



22th May 2023
大会事務局

INFORMATION No.6

●“コカ・コーラ”鈴鹿 8 耐 第 44 回大会 本戦出場権獲得チームリスト (8 耐トライアウト Final ステージ)

INFORMATION No.3-2, 7.選出チーム数に基づき、選考レース Final ステージ（2023 鈴鹿サンデーロードレース 第 2 戦 JSB1000 クラス）において、本戦出場権を獲得した 10 チームを以下の通り公示する。

Honda 双友会 Tochigi Racing #112
CLUB NEXT Honda Dream 高崎
IRF with AZURLANE 3
GESUNDHEIT Racing
Honda ブルーヘルメット MSC 熊本
山科カワサキ オートレース宇部 YIC EJ
YSS マーキュリー-&speedHeart F.A.T
Shinshu activation project Team NAGANO
トライテックイオ&Factory HIRO FUCHS Silkolene
MOTORCYCLES#27

以上 10 チーム



SUZUKA CIRCUIT